

# 第2回 東京大学メディカルキューブシンポジウム

～社会に開かれたトランスレーショナルリサーチの推進を目指して～

日時:平成22年7月5日(月)13:00-17:00

場所:東京大学鉄門記念講堂(本郷キャンパス 医学部教育研究棟14F)

主催:東京大学メディカルキューブ(TRイニシアティブ)

参加費:無料(定員270名、先着順) 懇親会費:5,000円

参加申し込み:【ご氏名・ご所属・ご連絡先・懇親会への出席可否】をご記入の上、シンポジウム事務局(メール(trc@h.u-tokyo.ac.jp)もしくはFAX(03-5800-9071))までお申し込み下さい。

はじめに 13:00-13:10  
清水 孝雄(医学系研究科長、東京大学メディカルキューブ運営委員)

トランスレーショナルリサーチ(TR)の紹介 13:10-13:30  
永井 良三(東京大学メディカルキューブ機構長)「変容する科学としてのTRとメディカルキューブ」

第一部:社会還元を加速するメディカルキューブ 13:30-14:50

基盤技術  
片岡 一則(工学系・医学系研究科教授)「ナノバイオテクノロジーが先導する診断・治療イノベーション」

医薬品  
森本 幾夫(医科学研究所教授)「先端医療の開発支援拠点形成と実践:CD26抗体を例として」

再生医療  
高戸 毅(医学系研究科教授)「再生医療における研究開発と実用化への取り組み」

医療機器  
佐久間 一郎(工学系研究科教授)「医工連携を推進する拠点形成と低侵襲診断治療技術の開発」

コーヒープレーク 14:50-15:00

第二部:最先端医療と社会の接点としてのメディカルキューブ 15:00-16:50

- 1) 問題提起  
審査当局の視点から  
近藤 達也(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 理事長)
- メーカーの視点から  
長谷川 閑史(日本製薬工業協会 会長、武田薬品工業株式会社 代表取締役社長)
- 2) 上記講演者(2名)による討議「日本のイノベーションを加速させるTRの現状と課題(仮題)」  
モデレーター:木村 廣道(薬学系研究科特任教授)
- 3) 問題提起  
治験推進者の視点から  
小林 史明(株式会社CTD 代表取締役社長、前日本医師会治験促進センター 研究事業部長)
- 患者・市民の視点から  
本田 麻由美(読売新聞 社会保障部記者)
- 津谷 喜一郎(薬学系研究科特任教授、グローバルCOE「次世代型生命・医療倫理の教育研究拠点創成」)
- 4) 第二部講演者(5名)による総合討議「TRの社会的意義と責任」  
モデレーター:永井 良三(東京大学メディカルキューブ機構長)

おわりに 16:50-17:00  
長野 哲雄(薬学系研究科長、東京大学メディカルキューブ運営委員)

懇親会 17:15-19:30  
カポ・ペリカーノ(医学部教育研究棟13階)